

ばらとヨーグルトと世界遺産を有する 東欧の国



神様がくれた国・ブルガリア



HIROSHIMA-BULGARIA ASSOCIATION

ひろしま・ブルガリア協会は、4月8日(土)午前9時から、広島市留学生会館の料理実習室で、2006年度・総会を記念して、第2回の「ブルガリア料理教室と同料理を楽しむ会」を行いました。これには、多数の会員やサポーターが参加し、米山栄子理事と佐藤佳代子幹事を中心にブルガリア料理に挑戦。出来上がった同料理に舌鼓を打ちました。(関連4面)。



06年度総会であいさつする広島市留学生会館の田中館長

ひろしま・ブルガリア協会(会長・海生直人広島修道大学教授)は、4月8日(土)午後から「2006年度・総会」を広島市留学生会館で開催しました。同窓会では、05年度の活動と会計報告を承認するとともに、06年度の活動方針や予算を採択して、新たなスタートを切りました。

来賓としては、(財)ひろしま国際センターの佐々木正善事務局長、広島市国際交流課の松本良徳担当課長(代理)、同会館の田中春彦館長らが参加し、温かい激励の言葉をいただきました。(関連2、3面)

4月8日

バラの女王らを招待へ
— 2006年度総会で決定 —
第1次・2次訪問団の派遣も

協会主催
当が



第2回「ブルガリア料理教室」には、約20人の男女が参加。米山栄子理事、佐藤佳代子幹事の指導を受けながら、ブルガリア料理の代表でジャガイモと肉と卵などの煮物・カヴァルマや野菜サラダ、なすの揚げ物とチーズ和えなど5品をつくりました。

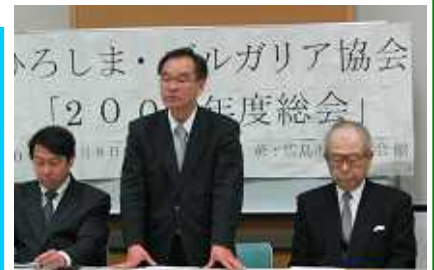
第2回「ブルガリア料理教室」

広島市二葉公民館の調理実習室で

4月8日



エプロン姿で料理をするメンバー



地道な活動をとあいさつする海生会長

海生会長 地道な活動の持続を訴う

総会は、高丸晃理事の司会で進められ、まず海生会長が挨拶に立ち、昨年7月に創設されて協会の活動の一端を紹介しながら、今後さらに地道な活動を展開

長から激励の言葉をいただきました。

続いて、05年度活動報告案(坂本光裕理事・事務局次長)、同会計報告(今村常任理事・事務局次長)、監査報告

したいと決意を披瀝しました。

次いで、(財)ひろしま国際センターの佐々木事務局長、広島市の国際交流担当課長の松本担当課長代理の立通教子主事、同会館の田中館



ばらの女王らの招へいで抱負を述べる本多理事

(松尾健司理事)、さらに06年度活動方針案(今村同)、予算案(福本尚子理事)が発表され、質疑応答を得て、全てが採択されました。

続いて、佐々木典明代表理事の挨拶、バラの女王と異本後弁論大会優勝者の招へい(本多みどり理事)、第1次訪問団の派遣(团长・寺田満和理事)、被爆写真展の開催(佐々木愛子理事)についての決意表明があった。最後に藤田洋三副代表理事が「楽しく地道に2年度の活動展開を」と挨拶をし、閉会しました。

ひろしま・ブルガリア協会 結成2年目に

平和・教育・経済・相互理解の推進を



06年
度総会

写真ダイジ
エスト

「被爆写真展」の成功を

6月

カザンラックの「バラ祭り」にも参加

8月



第1次・ブルガリア訪問団について抱負を述べる団長の寺田理事



06年度の活動方針案を発表する今村常任理事

ヴェリコ・タルノヴォ大学と広島大学の 交流の架け橋に



第2次・訪問団の被爆写真展について抱負を語る被爆者の佐々木理事

議案の発表を聞きながら真剣に議案書を見る右から中原、木谷、田川、坂本氏ら



楽しい活動の展開を、と閉会の挨拶をする藤田副代表理事

2006年度・活動方針

- 1、バラの女王と日本語弁論大会優勝者の招へい。5月1日～15日。
- 2、第1次・「ブルガリア訪問団」の派遣。5月下旬～6月上旬
- 3、第2次・「ブルガリア訪問団」の派遣。「被爆写真展」の開催。8月1日～31日
- 4、第3次・「ブルガリア訪問団」の派遣。9月上旬
- 5、第2期・「ブルガリア理解講座」の開催。9月～
- 6、協会ニュースの発刊。1、3、5の奇数月。
- 7、協会組織、事務局、協会ユニース編集室などの拡充。
- 8、バザールへの参加。
- 9、会員同士の交流の場づくり。
- 10、若者や女性が楽しめる活動の展開。
- 11、ブルガリアから留学生の招待が可能か検討。

発行者：「ひろしま・ブルガリア協会」
732-0053 広島市東区若草町26-4-1008

編集者：協会ニュース編集室
FAX:082-261-4877

hba0578@ybb.ne.jp
TEL:080-1903-1754 (今村)



お薬から訪問介護、デイサービスまでお任せを



訪問介護、福祉用具貸与、デイサービス寺小屋チャオ、ひとみ薬局

(有)ヤマオコーポレーション

広島市南区翠 082-250-9805



ばらの女王と日本語弁論大会優勝者を みんなで歓迎しよう

大関・琴歐洲の国・ブルガリアとの友情を深く



ご来賓の ごあいさつ(要旨)



広島市国際平和推進部
国際交流担当課長 松本良徳様・代理
主事 立通 敦子 さん

ただいま御紹介いただきました広島市国際交流担当の立通と申します。「ひろしま・ブルガリア協会」の2006年度総会の開催にあたり一言御挨拶申し上げます。

「ひろしま・ブルガリア協会」は、昨年7月に設立されましたが、これまでブルガリアの生活や文化を紹介する「ブルガリア講座」や料理教室を企画されるなど、積極的に事業に取り組みされてきました。今年も、ブルガリアの「ばらの女王」と日本語弁論大会優勝者の招聘、「第1次・ブルガリア訪問団」の派遣、カザンラク市での「被爆写真展」の開催など、盛りだくさんの活動を予定されており、広島とブルガリアの架け橋として、市民レベルの交流の推進に大きく寄与されています。

本日も、午前にはブルガリア料理教室と昼食会が催され、私も参加させていただきました。昼食会では、ヨーグルトを使用したブルガリア料理の美味しさと味の奥深さに感激するとともに、このような興味深い催しを通して、市民の皆様のブルガリアへの親しみが増していくことを実感いたしました。今後とも、皆様方をはじめ、関係者の方々の御支援、御協力により、広島とブルガリアとの相互理解が進展し、友好関係が一層深まることを心から願っています。

最後に、「ひろしま・ブルガリア協会」の一層の御発展、並びに御臨席の皆様のみずみずの御活躍と御健勝を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。



財団法人・ひろしま国際センター
事務局長 兼 交流部長 佐々木 正善 氏

昨年、私が県立広島大学におります時に、今村さんが訪ねてこられました。協会設立の時、ブルガリア協会のメンバーの数も少なく気にかけていましたが、会員数も70名近くになったと聞き、順調に協会が動き出していることを、ととても喜んでおります。

広島県には二国間交流団体の数が把握しているだけで65あります。その中で、ひろしま・ブルガリア協会が一番新しい協会ではないかと思えます。多くの協会が文化交流、相互訪問、来日された若い方のお世話をされ、企業などで事務局をしているものも多くあります。世界の秩序と安定面からみても人と人との交流の積み重ねがどれほど大切かは歴史が証明しています。また、国境を越えて様々な人と交流をすることは、どれほど私たちの心や生活を豊かにしてくれるかは、すでに皆さんも身をもって体験されていることと思います。

ブルガリアは正式にはリパブリックブルガリアですが、大相撲の琴歐洲の活躍で、テレビなどでブルガリアの文化や生活が紹介される機会が大変多くなり身近に感じる、とてもいい時期にあります。

ブルガリアは、毎年1千万人前後の方がヨーロッパなどから黒海沿岸の美しい自然などを求めて訪れる地です。ぜひ会員の多くの皆さんも、その良さをご自分の目で確認していただきたいと思えます。そしてブルガリアは将来、経済的にも大変注目を浴びる国でもあります。

今、ヨーロッパではEUが、東へ東へと拡大していっていますが、ポーランド、チェコなどの中欧、と言われている国々がEUに加盟した後、ブルガリアは来年一月にEUに加盟すると言われております。既存のEU加盟国に引張られる形でブルガリアなどの経済は飛躍的に成長していく、と言われております。

ブルガリアは農業国でありまた、食品加工や石油化学などの工業国であります。スイスのネスレ、フランスのダノンなどが食品関係で投資しています。今後は製造拠点としても多に期待されます。

いま、こうしてブルガリア経済のお話をしました。現在、広島の二国間交流団体の交流は文化交流が柱になっています。それには様々な理由がございますが、私の希望といたしましては、文化交流を柱としながらも、可能であれば広島とブルガリアの経済関係者も巻き込んで中広い交流関係を築いてほしいと思っております。

広島市留学生会館
館長

田中 春彦 氏



ご紹介いただきました広島市留学生会館の田中です。これまで広島大学(教授)に勤めていました。退官の際に、何か国際交流関係のことにかかわりたい、と思っていたところ当会館が館長を公募していましたので応募したところ採用になり、留学生の支援や国際交流・理解の場の提供などに携わっているところです。

ひろしま・ブルガリア協会では、これまでブルガリア訪問団の派遣やブルガリア理解講座、料理教室などの開催など、多彩な交流・協力活動を展開されている、とのことに敬意を表したいと思います。

なお、当留学生会館は、留学生の生活を支援するとともに、留学生相互の交流、留学生と市民との交流など多様な国際交流や国際協力を推進することを目的とし、居住施設と交流施設を併せもつ施設として平成13年4月1日に開館いたしました。

これからも当留学生会館をご利用になってください。私たちができることがあればご協力いたします。

本日は、2006年度の総会、おめでとうございます。ひろしま・ブルガリア協会の益々のご発展とご活躍をお祈りして、ごあいさつに代えさせていただきます。

第30回 ひろしまフラワーフェスティバルにも参加

2005年度・ブルガリアばらの女王・プラメナ・イヴァノヴァさんと日本語弁論大会優勝者・エミリア・コレヴァさんが、当協会の招待で5月1日から広島を訪れます。

5月1日~15日 ばらの女王が広島へ



2人が広島滞在中には、広島市のFFへの参加や呉市、安芸高田市、宮島などを訪問し4大学、中・高校などで交流する予定になっています。

と日本も語に弁論協大会が優勝招待者

みんなが主役

各自の個性、特徴を發揮して素晴らしい出会いと素敵な国際貢献を

第1次・第2次のブルガリア訪問団の派遣を成功させよう！！
広島とブルガリアのさらなる友好交流を目指して



腕を振るった料理人たち

料理好きの米山理事(右から2人目)に掛かっては、東欧の国・ブルガリア料理もお手の物。次々と作られていった



各自が好きなだけ試食を



レストラン並みでしょう！！



初めてのブルガリア料理を味わうメンバー



料理を食べた後は男性も女性も嫌わず参画の精神で後片付けを

美味しいブルガリア料理に舌鼓



ブルルガリアの代表的料理・ムサカ

メニューは5品



美味しそうに食べる姿を見るだけで満足？



編集後記

たい「まり料加イ繼まりう腕しリアアあ活と人人会以上会活動多きにはに挙民▼
い出楽ア理者ンいしに挑ににむア料ったのなり計と人人会以上会活動多きにはに挙民▼
も会したの食▼話2に0に6を、
すをい0に6を、
（綴出0に6を、
）て素年咲かルし、
。行晴度かルし、
きしもせがい

▼昨年7月8日、
ブルガリア料理教室
お陰です。今年第5号
協会ニュースも

協会役員

会長:海生 直人 広島修道大学・教授
副代表理事:藤田 洋三 (株)日本プレスト・総務部長

代表理事:佐々木 典明 (株)中国放送・顧問
常任理事・事務局長:今村 功 HIES・代表